

(2026年6月30日発表)

7月29日「これからの透析のあり方を考える」セミナー 参加者募集

【市長の出席 有】

静岡市では、透析患者の皆さまが透析患者の皆さまに安心して療養いただける環境づくりを推進するため、企業・行政・大学・医師会等が連携し、関係機関および市民の皆さまへの啓発と情報共有を目的としたセミナーを開催します。会場参加およびオンライン参加を募集します。

【趣旨・背景】

- ・近年、腎不全患者の痛みや不安をやわらげる「緩和ケア」(病気に伴う苦痛を軽減し、生活の質の向上を目指す医療や支援)の重要性が高まっています。
- ・国の方針である「経済財政運営と改革の基本方針2025」でも、慢性腎臓病対策として緩和ケアの推進が位置付けられています。また、日本透析医学会などにより緩和ケアに関するガイドンスが作成されるなど、医療現場での取組も進んでいます。
- ・こうした中、本市においても、透析患者の皆さまが住み慣れた地域で安心して療養できるよう、関係機関が連携した支援体制の構築を目指します。

【開催概要】(当日次第および登壇者は、別紙案内チラシを参照)

日時:2026年7月29日(水曜日) 14時30分～17時(13時45分開場)

静岡音楽館 AOI 7階講堂(葵区黒金町1—9)

主催:静岡市、共催:静岡市静岡医師会・静岡市清水医師会

【申込方法】

・どなたでも無料で参加できます。会場参加は定員200人(先着順)です。

・当日はオンラインでも同時配信します。

会場参加申込:<https://forms.gle/ashVwEvDp7Wy3Q459>

オンライン参加申込:<https://forms.gle/rKUmPAxmDY9h44gs5>

【取材について】

・取材いただける場合は、7月28日(火)までに下記問い合わせ先までご連絡ください。

・報道機関用の駐車場はありません。付近の有料駐車場をご利用ください。

【問い合わせ先】

保健福祉長寿局 保健衛生医療課(静岡庁舎 14 階)

電話:054-221-1549 担当者:竹下、西島

【別紙資料等】有(案内チラシ)



オンライン同時開催/参加費無料

これからの透析のあり方を考える — 地域で寄り添う医療 —

人生の最終段階における透析患者一人ひとりに寄り添った支援のあり方について考えるとともに、関係機関での連携体制のモデル構築の必要性や緩和ケアの内容について理解を深めます。

**2026年
7月29日(水) 14:30～17:00**
(13:45受付開始)



講演 (14:30～16:35)

14:30 静岡市長	難波 喬司	15:25 東北医科薬科大学教授	森 建文 氏
14:35 静岡市静岡医師会長	鈴木 研一郎 氏	15:55 衆議院議員	上川 陽子 氏
14:40 静岡市清水医師会長	竹内 康史 氏	16:05 日本腎臓学会理事長 (国際腎臓学会前理事長)	南學 正臣 氏
14:45 ノンフィクション作家	堀川 恵子 氏	16:15 厚生労働省 健康・生活衛生局長	大坪 寛子 氏
15:05 たけお内科クリニック からだと心の診療所院長	大武 陽一 氏	16:25 静岡市保健福祉長寿局長	千須和 健一

座談会 (16:40～17:00)

上川陽子 氏 × 堀川恵子 氏 × 南學正臣 氏 × 鈴木研一郎 氏
ファシリテーター 山田 洋輔 氏 [順天堂大学医学部附属浦安病院総合診療科 准教授]

※諸事情により、講師ならびに講演時間・講演内容が変更となる場合がございます。
※講師役職は、6月23日時点のものです。

会場

静岡音楽館AOI 7階 講堂（静岡市葵区黒金町1-9）

アクセス

JR静岡駅北口から徒歩約5分

当会場には駐車場はありませんので、
付近の有料駐車場を利用することとなります。
公共交通機関のご利用をお勧めします。

静岡駅からのアクセスは、
静岡音楽館AOIのHPをご確認ください。



申込

会場参加はこちら

先着200名。
定員になり次第締め切ります。



オンライン参加はこちら

※HPは以下のとおり
<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s4523/s013158.html>



主催：静岡市 共催：静岡市静岡医師会、静岡市清水医師会
協賛：株式会社ヴァンティブ 後援：厚生労働省（予定） 協力：(株)時評社

お問い合わせ：(株)時評社 事務局 電話：03-3580-6633 mail：seminar-mgmt@jihyo.co.jp